

# だっこだっこあみだっこ



- ・ぼく・わたしをそだてる ほとけのことば「<sup>ぶっしょう</sup>仏生—生まれた意味を見つけよう—」
- ・菜園日記
- ・浄苑にあつまれ！

親子仏法の集い 毎月開催中

## 5・6月号



ぼく・わたしをそだてる

# ほとけのことば

仏生 (ぶっしょう)

—生まれた意味を見つけよう—

仏教には、今のわたしたちにとって、あたたかなともしびとなることばがたくさんあります。

「ほとけのことば」から、わたしたちの日々のくらしの目標をかんがえてみましょう。

## ●「仏生」って？

「仏生」とは、仏教をひらかれたお釈迦<sup>しゃか</sup>さまが4月8日にお生まれになったことをいいます。多くのお寺には、お釈迦さまのご誕生をお祝いする「花まつり」という行事があります。

## ●お釈迦さまのご誕生

お釈迦さまはおよそ2500年前に、釈迦族の王子さまとして誕生されました。お母さまであるマヤ夫人は、白いゾウが自分のおなかの中に入る夢を見て、お釈迦さまを身ごもったと言われています。マヤ夫人はお産のため、ふるさとへ里帰りする途中、ルンビニという地の花園へ立ちよられました。そして、無憂<sup>むゆうじゆ</sup>樹の花を取ろうと右手をあげたとき、そのわきの下からお釈迦さまがお生まれになりました。お釈迦さまは生まれてすぐに7歩歩かれ、右手で天を、左手で地を指し、「天上<sup>てんじやう</sup>天下唯我独尊<sup>てんげゆいがどくそん</sup>（この世界に私より尊<sup>とうと</sup>いものはない）」と唱えられたと伝わります。



## ●お釈迦さまがお生まれになったわけ

浄土真宗をひらかれた親鸞<sup>しんらん</sup>さまは、「正信偈<sup>しょうしんげ</sup>」という書を書きのこされました。その中に「如来所以興出世（よらいしよいこうしゅっせ） 唯説<sup>ただ</sup>弥陀本願海（ゆいせつみだほんがんかい）」という一節があります。「如来」はお釈迦さま、「弥陀」は<sup>あみだ</sup>阿弥陀さまを指します。お釈迦さまがこの世にお生まれになった理由は、阿弥陀さまの広い海のようなお誓いだけ一つを説かれるためである、という意味です。

阿弥陀さまのお誓いとは何でしょうか？ それは、「くるしみなやむすべての人を救う、幸せにする」という尊いお誓いです。

お釈迦さまは、阿弥陀さまのお誓いに沿って、この世に生きるわたしたち一人ひとりを救うためにお生まれになったのです。

## ●わたしたちが生まれた意味

では、わたしたちが生まれたのは何のためでしょうか？ それは信心<sup>しんじん</sup>を得るためです。阿弥陀さまのお救いをゆるぎないよりどころとして、幸せに生きるためにわたしたちは生まれました。

「阿弥陀さまを信じよう」と気負う必要はありません。また、仏教をたくさん勉強<sup>べんきやう</sup>する必要ありません。

たとえば、ある音楽を聴いて、「いい曲だな」と感激<sup>かんげき</sup>した瞬間<sup>しゆんかん</sup>はありませんか？ そんなとき、「だれが、いつごろ作った曲だ」だとか、「この音はドの音だ、レの音だ」だとか、こまごまと考えをめぐらせている人はいないはずです。ひたすらに音楽が心にしみわたり、楽しみやよろこびがわきあがります。他のことをあれこれ考えずに、ひたすら音楽に夢中になる、感動しているとき、自分のところが何にもさえぎられずにおもてにできています。

信心も同じです。わたしたちを救おうとする阿弥陀さまのおはたらきに気づき、安心してすべてをおまかせするとき、手放しで感動することができます。

信心とは「感動<sup>かんどう</sup>」です。自分の心の動きや周囲のものごとに気づき、喜んだり悲しんだりするゆたかな心が大切なのです。

## ●心を開き、心の動きに敏感に

最近、みなさんはどんなことに感動しましたか？ 当たり前で過ごしている日常にあらためて目を向ければ、大切な気づきがあるかもしれません。

自分が見たもの、聞いたもの——すべてに心をひらいて、心が動くことに敏感<sup>びんかん</sup>でいましょう。「感動」は、みなさんやみなさんの周りの人の幸せにつながっています。





# 土にしたしむ 菜園日記

東山浄苑東本願寺には、親子で野菜の種まき・収穫体験ができる（※）菜園があるのを知っていますか？その名も「あみだっこ菜園」です♪

（※）毎月第3日曜日に開催している親子向けイベント「親子仏法の集い」。詳しくは裏表紙に！

春にむけて土づくり！

たくさんたがやして土をやわらかくしました



すくすく育っています！



いまそだっています！

## きょうの菜園

玉ねぎ

にんにく



## 小さな四季みいつけた

東山浄苑東本願寺には藤棚があり、藤の花がきれいに咲く季節です。お子さんの成長を、阿弥陀さまとご先祖に感謝して、ぜひご参詣下さい。





# 親子仏法の集い 毎月開催中！

## 親子仏法の集いって？

毎月第3日曜日（行事等で変更の場合あり）に、東山浄苑東本願寺の菜園で行っている親子向けの活動。  
また、花まつりでは、毎年子ども法要をおつとめしています。

なんでもありがたくいただいて、粗末にしない—古きよき日本人を育てた仏教の教えです。  
家族で野菜づくりや年中行事に親しみ、「いただきます」「ありがたい」の豊かなこころを育てましょう。  
乳幼児から中学生までのお子さんをご家族はどなたでも参加できます。お気軽にお尋ねください！

【活動日】毎月第3日曜日 ※年中行事、花まつり前には変更

【場 所】東山浄苑東本願寺

【参加費】1家族1,000円 ※初参加無料！

◎ベビールーム完備／屋内無料駐車場完備／参加ご家族30組限定

【お問い合わせ・参加のお申し込み】

東山浄苑東本願寺 総合受付

電話 075-541-8391 毎日9:00  
～17:00



## 参加者募集中！

### 5月15日（日）

10:00～12:00

【活動内容】

たまねぎの収穫

トマト・オクラ・パプリカの植え付け

【場所】

東山浄苑内 あみだっこ菜園 等

### 6月19日（日）

10:00～12:00

【活動内容】

ニンニクの収穫

かぼちゃの植え付け、ゴマの種まき

【場所】

東山浄苑内 あみだっこ菜園 等

※活動内容は、天候や作物の成長状態などによって、予告なく変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

※雨天の場合は、お念珠袋づくりや掛軸づくりなどの室内企画を行います！お楽しみに！



LINE で参加申し込みができます。

詳しくはお尋ね下さい。

LINE ID: oyakobuppou



菜園や活動のようすをアップ中！

フォローして画面を提示するだけで

参加費1割引♪（1家族1回のみ利用可）

アカウント名: amidakko

だっこだっこあみだっこ 令和4年5・6月号

令和4年4月25日発行 発行・印刷/東山浄苑東本願寺 〒607-8461 京都市山科区上山山旭山町8-1 電話 075-541-8391 無料